

令和5年度あさご未来会議

テーマD：地球に優しい脱炭素社会の実現

私たちのWill「やりたい」アイデア

■個人・家庭でできること

- なるべく歩く
- 公共交通を利用する（JR利用、エコ通勤、ノーマイカーデー、自転車利用など）
- アイドリングストップ
- ライドシェア
- 食品ロスの削減
- スーパーの買い物は手前から購入
- エアコンの温度設定
- 再生可能エネルギーの選択
- 太陽光パネルの設置
- 薪ストーブの導入
- お風呂の水量、温度設定
- 食器の汚れを落としてから食器洗い
- 省エネ商品の購入（家電、車、調理器など）
- 家の断熱材、二重窓の設置
- こまめに電気を切る
- マイボトルを持つ
- マイバックを持つ
- ネット注文の削減（宅配の削減）
- 地産地消の促進

■地域等でできること

- ごみの分別の推進
- 地域でのごみ拾い
- フードドライブの実施
- フリーマーケットの開催
- クールシェアの導入（集いの場）
- 広葉樹の植栽
- ギビエの活用
- 自然体験活動
- 回覧版等のペーパーレス化（DX化）

■会社で出来ること

- パソコン等の電源をこまめに切る。
- 移動は公共交通を利用する
- Jクレジットの購入
- ペーパーレス化

■農業等との連携

- 生ごみのたい肥化と有機農業との連携
- 岩津ねぎ等農産物の個包装（ナイロン袋）をやめる

私たちのWill「やりたい」が促進されるアイデア

■市等での促進策

- 志しを共にするひとの対話の場づくり
- 環境ポイント等のインセンティブ制度
- 地域や企業等の団体で取り組みしきくみ
- 公共交通にあわせた会議設定（場所、時間）
- 木材の利活用の促進
- 省エネ商品の購入促進（補助制度等）
- 移動を少なく、コンパクトシティ化
- 小水力発電の導入
- 木育
- 竹・木材の粉碎機のレンタルによりチップ等の活用
- 野焼きをしないよう呼びかける

■企業等の促進策

- 公共交通にあわせた勤務時間設定
- 勤務時間を柔軟に設定
- テレワークの実施
- オンライン会議の活用
- 近距離の移動は徒歩または自転車を徹底

■多様な主体との連携

- 学校の授業等での連携
- 企業と連携し取組を加速化
- 漁業者や林業者との連携
- 観光と連携
（マイボトルを持って出かけることを呼びかける）

■学びの場、気づきの場づくり

- 豊かな自然環境とのつながりを意識できる学びの場づくり
- 子どもの頃からの自然体験活動
- SDGsゲームの開催等による環境教育
- 気軽に自然環境について対話できる場づくり

Will「やりたい」が実現されたまちの状態

■生活様式の変化

- ごみの減量化、再利用化
- 電気消費量の減少
- 化石燃料の減少
- ハイブリッド車・電気自動車の増加

■まちの変化

- 森林保全、災害に強い森
- 人も自然にもやさしいまち
- ごみのないまち
- 自然と資源の豊かさがあるまち
- 循環型社会
- 公共交通の利用促進

■価値観の転換

- モノの豊かさから自然との共生へ